様式 4-1
version：1.0
作成日：2026 年 6 月 10 日

虚血性心疾患患者における ^{13}N-アンモニア心筋血流 PET 検査で認められる負荷時乳頭筋集積低下と心筋血流予備能に関する研究

研究協力のお願い

この研究は、日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間 昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2020 年 5 月～2025 年 7 月に日本医科大学健診医療センターで ^{13}N-アンモニア心筋血流 PET 検査を受けられた虚血性心疾患及び虚血性心疾患が疑われた患者さん。

2. 研究の目的

^{13}N-アンモニア心筋血流 PET 検査では、薬剤負荷時に乳頭筋（心臓の弁を支える筋肉）の放射性薬剤の集積が低下して見えることがあります。本研究では、この所見と心筋血流の状態との関連を調べることで、この所見がどのような意味を持つのかを明らかにし、将来的な心筋血流 PET 検査の診断精度向上に役立てることを目的としています。

3. 研究の方法

健診医療センターで実施する研究で、研究責任者および事務局は日本医科大学健診医療センター　センター長　今井祥吾です。

2020 年 5 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までに日本医科大学健診医療センターで ^{13}N-アンモニア心筋血流 PET 検査を受けられた患者さんの診療情報及び画像データを用いて解析を行います。心筋血流量や心筋血流予備能などの指標と乳頭筋の集積パターンとの関連を調べます。

研究実施期間は実施許可日から 2028 年 3 月 31 日までです。

なお、本研究に関連する利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、冠動脈危険因子、心筋梗塞の既往、冠動脈血行再建歴、内服薬など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な医局内に設置された、パスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報が、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学　健診医療センター　センター長　今井祥吾
〒113-0022　東京都文京区千駄木 1-12-15
電話番号：03-5814-6703（代表）　内線：24184
メールアドレス：shogoimai @nms.ac.jp